

ならはみらい

ならは交流会Cocchi-Coで岩沢海水浴場で夏を楽しみました

ならはみらいが運営する檜葉町移住相談窓口では、移住者や移住を検討している方と地域をつなぐ取り組みとして「ならは交流会Cocchi-Co（こっちこ）」を年6回開催しています。7月には岩沢海水浴場でスイカ割りやサンドアートを通して楽しく交流しました。Cocchi-Coはどなたでも参加できるイベントを企画しています。みなさまがチャレンジしたい企画のアイデアもぜひお寄せください！お待ちしております！



“ならはみらい”の最新情報を定期的にお届けします！

- P2 ごあいさつ、空き家サポーター制度がはじまります
- P3 立地企業親和会イベントブース出展レポート
みらいスタッフが集合！イマドキ“ならは事情”
- P4 ならはみらいプチ補助金活動紹介
行政区紹介パンフレット
- P5 ならはプレーヤー紹介
最新情報をPick up!
- P6 Info/Newface/MIRAI Now

一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

この度、代表理事に就任いたしました永山です。2016年より事務局長、専務理事を務めた経験を活かし、職務に邁進する所存です。まずは、急激な事業拡大の陣頭指揮を執っていただいた前代表理事・大和田氏のご功績に心より感謝申し上げます。

私たちは「“想い”と“アクション”から物語が生まれ続けていくまちへ」をビジョンに掲げています。これからも、地域に潜在する一つひとつの声や想いに丁寧に耳を傾け、地域の力が最大限に発揮されるような組織づくりを進めてまいります。

これまで培ったつながりを大切に、皆様と共にまちづくりに取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表理事
永山 光明

ならはみらいでは、町の中にある「使われていない家(空き家)」や「空き地」を有効的に活用し、町の活性化に向けた活動を行っています。

そのお手伝いをしてくれるのが、「檜葉町空き家サポーター」の皆さんです！



サポーターはこんな活動をしています！

サポーターには、地域のことをよく知るみなさまにご協力をいただき、地域と町の架け橋として、主に次のような活動を行っていただきます。

- ◎空き家(空き地)の利活用をどうしようか迷われている方のご相談を受け付け、「ならはみらい」につなげます。
- ◎物件の紹介窓口となる「空き家・空き地バンク」をご案内します。
- ◎檜葉町が主催する空き家活用や相続に関するセミナーをご紹介します。



所有する空き家について相談をご希望の方には、各行政区の空き家サポーターをご紹介します。お気軽に移住相談窓口までお問い合わせください！



空き家サポーター

地域をよく知っている人だから安心して相談できます！



相談

空き家相談の共有

空き家に関する状況確認

空き家・空き地バンクの紹介

空き家の所有者

空き家・空き地バンク
登録・相談サポート

檜葉町空き家・空き地バンク窓口
(一般社団法人ならはみらい)



「空き家どうしよう」
「相続手続きとか心配…」

空き家・空き地バンクの登録・相談

空き家・空き地バンク登録に必要な書類作成のサポートを行います。町の空き家・空き地バンクへ無料で掲載します。



檜葉町立地企業親和会

組織紹介 南工業団地、北産業団地、竜田駅東地区、その他公共施設に入居する企業団体の24社

檜葉町立地企業親和会は、町内に立地する企業等が地域と良好な関係を構築し、各種まちづくり施策に積極的に関わることで、地域と企業がともに持続的な発展を目的とする協議体です。

今回は、ならは百年祭ブース出展に関する報告をさせていただきます。

地域の方と町内企業が「顔の見える関係」を築くことを目的に、ならは百年祭で親和会ブースを出展しました。(株)エヌビーエスのベトナム人スタッフとのご縁から始まった本企画も今年で4回目。当日はお盆中にもかかわらず会員企業11社・25名の方々にご参加いただき、ベトナム料理の提供を通じたPRを行いました。



提供メニューも会員でアイデアを出し合い、試作会や打ち合わせを重ねて決定。当日はバインミーなど3品のベトナム料理を用意し、行列ができるほどの大盛況でした。生活していると少し遠く感じられがちな企業ですが、料理と笑顔を通じた交流で、地域の皆様との距離がぐっと縮まった1日となりました。



これが イマドキ! “ならは事情”

＊ならはみらいスタッフが紹介!

スタッフの『自分目標』大公開!

職員の健康を支える「健康経営」の一環として、個別面談を行いました。疲れや肩こりに悩む職員が多い中、「三日坊主にならない低い目標」を各自が設定!「週5回のラジオ体操」「寝る前のプチストレッチ」「夕食の白米を半分に」など、それぞれのペースで無理なく健康づくりに取り組んでいます。



それぞれのペースで、楽しく挑戦中♪

檜葉の想いや物語をInstagramで発信!

自分達の活動をPRしたい!

檜葉町のちょっとディープな情報を知りたい!

そんな皆さんにご活用いただけるInstagramを開設しました!その名も「ならはのじかん」🌱
檜葉町のあらゆる“ひと・もの・こと”を想いや物語と共にお届けします。掲載依頼も受け付けておりますので、気軽にご相談ください♪



ぜひフォローしてお待ち下さい♪





想いをアクションに!!

ならはみらいまちづくりスチ補助金



下井出行政区長
皆川 彰弘さん

ならはみらいプチ補助金

【若葉部門採択団体】下井出行政区の活動をご紹介します!
「子どもを大切にする行政区」を目指して。

「地区を盛り上げるには、まずはこどもからだなと思ったんです。」

そう話すのは、現在、行政区長として地区のみんなと地域づくりに取り組む皆川さん。

震災前は、行政区活動は「義理で参加するもの」という感覚でした。でも、帰還したときに地域のみなさんが温かく迎えてくれて、「今度は自分が応えたい。」と思うようになったんです。

その中で、地区のみんなと話を重ねながらたどり着いたのが、子どもを大切にする行政区にしようという考えでした。七夕飾りや写経・写仏体験など、子どもたちが地域のいろいろな大人と自然に関われる場を、みんなで一緒につくっています。



子どもを大切にしたいという思いから始まった下井出の取り組みは、子ども会の発足や地域の新たなつながりへと広がってきました。その歩みを進める中で、プチ補助金も少しだけ力を添えることができました。

プチ補助金

【芽吹き部門】

補助上限額10万円

R7年度の採択件数 10件

【若葉部門】

補助上限額30万円

R7年度の採択件数 1件



檜葉町移住促進事業をご紹介します

行政区紹介パンフレット作成中!

ならはみらい
こんなことに
チャレンジ
しています

檜葉町移住促進事業では、町の魅力を多くの方に知っていただくために、町内外へ向けて積極的に情報発信を行っています。

その新たな試みとして、今年度から各行政区への密着取材をスタート! 行政区ごとに一冊のパンフレットにまとめるプロジェクトを進めています。

記念すべき最初の取材は、松館行政区で開催された「麻雀大会」にお邪魔させていただきました。当日はたくさんの地域住民の皆さんが参加され、中には檜葉町へ移住してきた若者の姿も。すっかり地域に溶け込んでいる様子がとても印象的でした。イベント中は終始和やかな雰囲気にもまれ、会場には絶えず笑い声が響いていました。



パンフレットの制作にあたり、各行政区長にお話を伺いながら、地域の自慢のイベントや素敵な住民をご紹介します。「うちの行政区には、こんな面白い自慢があるよ!」という方は、ぜひ情報をお寄せください。皆様からの“レアな情報”を心よりお待ちしております!

ならはみらいは、これからも檜葉町のあたたかな人のつながりや、素敵な地域コミュニティを全国へ届けてまいります。

だれもが
このまちをつくる主人公!

ならはのプレイヤーたちをご紹介します

メンバー大募集中!

鍵盤ハーモニカクラブ「Smile Harmony」

檜葉町で活動を始めて2年。月2回の練習や手作りの演奏会の開催など、意欲的に活動するSmile Harmonyさんにお話を伺いました。

団体について

Smile Harmonyは、50～60代が中心となって立ち上げました。町内の活動には運動が苦手な人が参加しやすいものが多いと、一つの選択肢が増えればという思いがありました。現在では20代～70代のメンバーが集い活動中。楽譜が読めない人がほとんどで、互いに教え合いながら和気あいあいと活動をしています。

鍵盤ハーモニカの魅力

鍵盤ハーモニカは小学校の授業でも使われるため、誰にでもなじみがあり、手軽に演奏できることが特徴です。また、深い呼吸が必要なので健康にも良く、程よく体を使うことができます。打楽器などと合わせて、より楽しく聴いてもらえるよう工夫しています。

活動について

昨年度は、2回の演奏会を開催しました。3月の演奏会では、東日本大震災から15年という節目であることを意識して選曲・演奏を行いました。聴きにきてくださったみなさんの心が少しでも軽くなるように、という願いを込めて演奏しました。これまで一緒に歩んできた家族、そして自分たち自身もまた一歩、歩み出すことができるような、そんな時間になったのではないかと思います。震災がなければ、この団体も生まれていなかったかもしれません。つらい経験や悲しみも抱えてきましたが、震災から生まれた縁ときっかけが今日につながっているんだと感じた一日でした。

これから

今年度は、町内の福祉施設やミニデいに訪問して演奏ができたと思っています。和気あいあいと練習をしていますので、どなたでも気軽に体験にいらしてください。お話し好きが多くて練習が進まないくらいです!自分たちのペースで、これからも活動を続けていけたらと思っています。

Pick up

みんなと一緒に!花植え活動



中満・寺脇地区にある5か所の花壇で「ふれあい花壇交流事業」として植栽活動を実施。日頃から花壇の管理を中心となって担う住民の方々と「こんな花壇にしたい!」という理想を語り合いながら、花の選定などを進めました。当日は和気あいあいと会話を楽しみながらの花植え活動。植栽後の日々のお手入れも地域の方々が主体となって行っています。

ならはみらいは植栽活動の準備など「最初の一歩」を手助けする形で、今後も皆様の活動に寄り添ったサポートをまいります。

活動!

新たな物語を紡ぐ場所へ。CODOUの今



「ならはで新たな物語を紡ぐ人たちの居場所」として誕生したCODOU。スタートアップ企業の支援拠点として運営されてきました。この度、入居企業が別拠点へ移転したことに伴い、2階にあるレンタルオフィスの入居企業を募集しています!既に2部屋は入居が決まっておりますが、まだ空き部屋がありますので、オフィス利用に興味のある方はお問い合わせください。

また、1階を含む施設全体についても、自社所有という強みを活かした新たな活用方法を検討しています。CODOUのこれからの歩みにご期待ください!

募集!

Info こどもたちとつくる社会体験の場

2026年11月に、檜葉町の小学生を対象に「みらいタウン～こどものしごと場～」の開催を予定しています。子どもたちが自分で仕事を選び、「働く」という体験を通して、地域や社会の仕組みを楽しく学ぶ一日限りの“こどものまち”です。役場や銀行、地域のお店などをモデルにした仕事場で、子どもたちはさまざまな役割に挑戦します。



地域の人や仕事と出会い、子どもたちが檜葉町で暮らし、働く魅力を体感できる社会体験の場です。地域とのつながりを育み、将来のまちづくりにつながる学びを目指します。



Info お役立ち機材レンタル制度

ならはみらいでは、檜葉町内におけるまちづくりの支援活動として、イベントや行事の際に利用いただける便利なレンタル事業を行っています。団体でも個人でも、みなさまの「チャレンジ!」をお待ちしています。

- テント(クイック/パイプ).....1,000円～
- 会議用テーブル.....100円
- 発電機.....1,000円～
- パネル用イーゼル.....100円
- のぼり旗+ポール.....100円
- 円盤ウエイト.....(テント利用時無料) 100円
- パイプ椅子.....無料



【写真】は制度を利用して簡単に設営できるテントを使った朝市の様子です。詳細はお気軽にご相談ください

Newface 新たな仲間をご紹介します!



須藤 裕章 (すとう ひろあき)

#茨城県つくば市
#趣味はゴルフとチェス

7月から檜葉町にお世話になっております。コミュニケーションを大切に明るく楽しく頑張っております。何かございましたらお気軽にお声がけください。よろしくお願いいたします。

MIRAI Now ならはみらいの動き

- 9月 5日 ● 第3回ならは交流会Cocchi-Co
27日 ● おさがり交流会
- 11月 3日 ● 第1回 こどものまち企画「みらいタウン」
14日 ● 第4回ならは交流会Cocchi-Co
- 12月 ● イルミネーション点灯式
19日 ● まざらっせDAY
- 1月 9日 ● 第5回ならは交流会Cocchi-Co
新春イベント
- 3月 ● 第6回ならは交流会Cocchi-Co
3.11特別企画展「みちのうえ」

※詳細はサイトやSNSをご覧ください

毎月実施

檜葉町活性化協議会会議(第1木曜日)
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

発行者・問い合わせ先



一般社団法人ならはみらい

住所: 〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内
電話: 0240-23-6771 FAX: 0240-23-6772

Mail: info@narahamirai.com Web: https://narahamirai.com